

長野県農業法人協会北信ブロック情報交換会における意見交換概要

| 開催日 | 参加者の概要 | 農地中間管理事業に対する意見 | 意見の対応策 |
|--------------------|--|---|---|
| 平成 28 年 8 月 5 日 | 長野県農業法人協会 会長 北信ブロック会員 県農政部、県農業会議、 JA 長野県営農センター 等 20 名 | <p>○農地中間管理事業が国の補助事業等の要件になってきており、更に活用を進めていきたいが、市町村やJAにより、その対応に温度差が感じられる。</p> <p>軌道</p> <p>○借受け農地を確保しやすいように、出し手農家への農地中間管理事業の浸透が更に進むよう、PRをしっかりと行ってほしい。</p> | <p>□業務委託先に対し「事業推進会議」により事業活用への協力依頼を行いつつ、直接事業担当される職員に対しては別途「業務委託先実務者研修会」を実施し、制度理解の向上や事務手続き手法の習得を図るよう進めています。</p> <p>ご意見のとおり、対応に差があることは認識しており、現在 個別にJAや市町村を巡回して、意見交換や助言を行っています。県内の市町村が同レベルで対応いただけるような取組みを更に強化してまいります。</p> <p>□マスメディアの活用は、ラジオCMでの事業PR、機構職員のラジオ番組出演に加え、新聞広告を行っています。また市町村単位で、機構が作成した事業PRチラシの活用による事業周知を進めていただくとともに、農業委員（最適化推進員）との情報共有の場の設定をお願いしているところです。</p> <p>今後も、効果の上がる手法を検討し、事業内容や仕組みが広く浸透するような取組みを強化してまいります。</p> |